

# 本文章已註冊DOI數位物件識別碼

- ▶ 接続詞の意味と用法「だから」「それで」「そこで」を中心として

doi:10.29714/TKJJ.200305.0005

淡江日本論叢, (12), 2003

作者/Author: 蕭碧盞

頁數/Page: 75-95

出版日期/Publication Date: 2003/05

引用本篇文獻時，請提供DOI資訊，並透過DOI永久網址取得最正確的書目資訊。

To cite this Article, please include the DOI name in your reference data.

請使用本篇文獻DOI永久網址進行連結:

To link to this Article:

<http://dx.doi.org/10.29714/TKJJ.200305.0005>



*DOI Enhanced*

DOI是數位物件識別碼（Digital Object Identifier, DOI）的簡稱，是這篇文章在網路上的唯一識別碼，用於永久連結及引用該篇文章。

若想得知更多DOI使用資訊，

請參考 <http://doi.airiti.com>

For more information,

Please see: <http://doi.airiti.com>

請往下捲動至下一頁，開始閱讀本篇文獻

PLEASE SCROLL DOWN FOR ARTICLE



## 接続詞の意味と用法

### 「だから」「それで」「そこで」を中心として

副教授 蕭 碧璽

#### 要 旨

本稿の目的は日本語教育に携わる者の立場から接続詞「だから」「それで」「そこで」の三者の違いを考察する事にある。「だから」「それで」「そこで」は我々中国人の頭の中ではすぐに“因此、所以”と訳される、もちろん“因此、所以”の意味も含まれるが、それだけでは「だから」「それで」「そこで」の全ての用法を説明することはできない。「だから」には「原因・理由」以外にそれに属さない使い方もある。「それで」にも「原因・理由」以外に、「語気の変換」「催促」「真相究明」の使い方がある。「そこで」には前後の自然な成り行きという用法以外に「そのとき」「その状況」という重要な使い方もある。以上のようなことを踏まえ、初級・中級の学生たちにこれらの使用頻度の高い接続詞を使いこなしてもらおうと例文も教科書の中から採用し、かつ本稿の目的とした。

#### キーワード：

因果関係、意志的行動、真相発見、聞き出す、動詞文、場面設定

## 1. はじめに

接続詞として働く語にはほかの品詞（注 1）から転じたものがたくさんある。同じ接続詞でも人によって違う品詞に分類するということもある。また辞書によって分類が違う場合もある。接続詞には順接か逆接のように後の文でいう結果に食い違いがあることを表す役目もある。話をする場合、その内容によっては、接続詞まで言って後は言うのをやめてしまうものもある。また、話題を展開させるときや変えるときに違う接続詞を使うこともある。接続詞は前のことばや文を後ろのことばや文と結び付ける働きを主な役目を果たしている。つまり意味のある語と語の接続、句と句との接続、文と文との接続の役目をしている。従来の（日本）国語学研究では、接続詞は文章論か品詞論の分野項目として、意味分類を中心とした視点によって取り扱われてきた。接続詞とはもともと存在しなかった品詞であり、文がだんだん複雑に多様化するに従って、いろいろな接続詞が使用されはじめた。意味上の分類から見ると一つの語が二つの意味にまたがって使われることもある。たとえば、「それで」は展開にも因果（注 2）にも使われる。だから二つ以上のことばが合わさって出来た複合語が多いと言える。接続詞の機能では連結または論理的関係づけといった機能が注目されている。

本稿の主旨は中国語を母語とする日本語学習者にとって学習問題点の一つである「因果・展開」を表現する接続詞の「だから」「それで」「そこで」の相違点をどう効果的に教えるかを提起することにある。現在、大学における初・中級日本語の教科書のうち、接続詞の「だから」「それで」「そこで」の意味用法を説明している教材はない。初・中級段階に使われている（注 3）ほとんどの辞書では「因此」「所以」と訳してあるものが多い。しかし実際にこれら接続詞の意味は「因此・所以」だけではなく、語気を変える場合には「那麼」、前後と関係がなくただ単に時間を表す場合には「於是」か「於是乎」と訳すべきである。説明を付け加える場合に「於是」「於是乎」と訳されるものは「そこで」であり、「那麼」「語気転折」と訳されるものは「それで」「そこで」である。我々の学校教材や「日華辞典」にもでてこないものが「だから」の「質問」用法と「主張」用法である。これを中国語に訳すと「所以嘛」、「所以才・・・」となる。しかし日華辞典の「だから」「それで」「そこで」の中国語訳は完全に同じであり何の区別もない。

日本語の接続詞が順接として用いられる場合は、その接続詞が「だから」「それ

で」「そこで」によって表現することができる。たとえば、次のような例である。

- ①うちにはクーラーがなくて夏はとても暑い。そこで、夏休み中は毎日学校の図書館で勉強している。
- ②今年の夏は暑い日は少なかった。それでクーラーの売れ行きが例年と比べて非常に悪かった。
- ③お母さんは必ず来ます。だからここで待っていなさい。
- ④事情はいまお話したとおりです。そこで、あなたに相談なんですけど・・・
- ⑤事故があって電車が遅れてしまいました。それで、佐藤さんは遅刻したんです。
- ⑥このままではだめだ。だから改善しなさい。
- ⑦A：実は、先月からダイエットを始めたんです。  
B：そうですか。それで、何キロやせたんですか。
- ⑧前奏が終わったら、そこで歌い始めてください。

また次のように、他の接続詞を入れても意味が明確であり、不自然な文にはならない。換言すればニュアンスの違いはあるが、不自然になることはない。

- ①うちにはクーラーがなくて夏はとても暑い。だから・それで・そこで、夏休み中は毎日学校の図書館で勉強している。
- ②今年の夏は暑い日は少なかった。だから・それで・そこで、クーラーの売れ行きが例年と比べて非常に悪かった。
- ③お母さんは必ず来ます。だからここで待っていなさい。
- ④事情はいまお話したとおりです。それで・そこで、あなたに相談なんですけど・・・
- ⑤事故があって電車が遅れてしまいました。だから・それで 佐藤さんは遅刻したんです。（前件が場面を示すだけで、原因・理由とならない文では「そこで」を「それで」に置き換えることができない）。
- ⑥このままではだめだ。だから改善しなさい。
- ⑦A：実は、先月からダイエットを始めたんです。  
B：そうですか。それで、何キロやせたんですか。

⑧前奏が終わったら、そこで歌い始めてください。

以上の例に示されたように、①～⑧の接続詞に含まれる接続表現「だから・それで・そこで」が置き換えられる場合と置き換えられない場合がある。①と②の場合、「だから」「それで」「そこで」を入れても同じように、基本的な成り行きの意味を持っている。③の場合は命令の意味を持っているので「だから」を使うほうが適当である。④は話の方向を上手に変えるときに使うので「それで」も「そこで」も使える。教科書にでてくる接続詞は「それで」でも「そこで」も使える。しかし「だから」は完全におかしい。⑤は文末の「～んです」は「～のです」と同じで「説明句」である。だからここで「そこで」を使うとおかしくなる。⑥も④も同じで、「～なさい」という命令の意味を持っているので「だから」しか使えず、「それで」はおかしい。⑦の「それで」は真相発見の意味があり、中国語訳は「那麼・・・、瘦了幾公斤？」となる。⑧は「そこで」しか使えない。これは「そこで」だけが「その時」「その時点」を表すからである。

日本語に限ったわけではないが、同じ役目を持つことばでもいつでも置き換えられるとは限らない。たとえ、置き換えることができても、不自然になることもあるし、ニュアンスが違う場合もある。接続詞を上手に使うことは文章を流暢にするうえで重要である。また、次のような「それで」「そこで」(代名詞+で)は別稿に譲る。例えば、

⑨また近代的ホテルのなかにも結婚式のために小さな神社が造られ、そこで神主さんが祝詞をあげてくれます。

⑩赤いペン、それで記入してください。

のような例である。

以上述べた接続詞機能に関する所見は、既に日本において国語学者も述べていることで、

例えば南(1981)宮地(1983)ひげ(1986・1987)山森(1990)などの研究が発表されている。これらの接続詞の研究においては、連結または論理的関係づけといった機能の視点からの考察が中心だと言える。これにたいして、言葉では、前の話に言及しつつ終了させたり、次の話題に導き入れたりするといった話題の展開・終了などの機能を述べた論述が見られた。本論ではそれを先行研究として、日本語教育の実

践面からさらに詳しく分類し、論述するものである。

したがって本稿の考察手順としては、次のように進めていくことにする。第2節では「だから」「それで」「そこで」の意味用法を中心に考える。第3節においては資料に見る「だから」「それで」「そこで」がとるセンテンスの意味用法を整理する。そしてまとめでは資料の例文に見られる「だから」「それで」「そこで」の用法について分析する。また教科書(注4)などに載っている「だから」「それで」「そこで」の用法の使い分けを取り上げて考える。

## 2. 「だから」「それで」「そこで」の意味用法

まず意味用法であるが、国語辞典のように単語を分かりやすく、別の単語に置き換えて説明する方法はそれなりの利便性と有効性をもっている。つまり辞典(注5)に載っている置き換え表現が接続詞の多義性を表していると言える(注6)。意味上の分類から見ると一つの語が二つの意味にまたがって使われることもある。たとえば、「それで」は順接にも展開にも因果(注7)にも使われる。

### 2.1 「だから」

一、後件が、前件の論理上当然の帰結であることを表わす。「……だから、病気になったのだ。」そのような望ましくない結果が自分には前もって予測できるものであったことを表わす。「——言わないことじゃない」(注8)

二、前の事柄を理由にして、あとの事柄がおこることを示す語。であるから。

それ

ゆえ。用例:だから、あれほど言ったでしょう(注9)

三、前の事柄を理由にして、後の事柄が起こることを示す語。であるから。

それゆえ。(注10)

四、のぞましくない結果が自分には前もって予測できるものであったことを表わす。だからを使った二つの文を、「から」を使って一つの文にすることもできる。(注11)

## 2.2 「それで」

一、①それだから。②前に述べた話を受けながら、新しい話題に転ずる時に使う言葉。そこで。③相手の話を先に促す時に使う言葉。そして。(注12)

二、前に示された条件の帰結を示す語。だから。そこで。前に受けた事柄を受けて、新しく発展させる文の最初に使う語。それゆえに。相手の話を先に促すとき。それから。そして。例：それでどうしました(注13)。

三、BはAから予想される当然の結果。

AそれでB→Aが原因・理由Bが結果・結末を表す。

AそれでB→相手の話を先へ先へとうながすときに使われる(注14)。

四、前の文を受けて、次の文を新しい場面に展開させていく働きをする(注15)。

五、文と文を接続する。後の文の依頼、命令などの積極的な意志表現には使われない。「で」は話し言葉で使う(注16)。

a 「前の事柄が理由で、こうなってしまった」という事態を客観的に述べる。「ので」と同じような意味で使う。

b 「その結果は(どうになりましたか)。」「それから(どうですか)。」というふうに、相手の話を次から次へと聞き出す時に使う。

六、前の文を認めたいうで、そこから次に述べるべき事柄を展開させるとき用いる接続詞(注17)。

イ・それだから。前件それで後件→前件が原因・理由、後件が結果・結末を表す。前件を認めたいうで、そこから次に述べるべき事柄を展開させるときに用いる接続詞。「前件の事柄が理由で、こうなってしまった」という事態を客観的に述べる。「で」は話し言葉で使う。「ので」と同じような意味で使う。

ロ・そこで。前件に述べた話を受けながら、新しい話題(後件)に転ずる時に使う言葉。

ハ・そして。相手の話を先に促す時に使う言葉。前件それで後件→相手の話を先へ先へとうながすときに使われる。

## 2.3 「そこで」

- 一、(すぐ前の話を受け)①そういう次第で。「—— (=その時)」②話を巧みに転じる時の言葉「—— (=ところで。さて) きみに尋ねる事が有る」(注 18)
- 二、前の事柄を受けて、後の事柄について述べることを示す語。そういう次第で。それで。だから。話題を転じることを示す語。さて。ところで(注 19)
- 三、ところで。さて。話を巧みに転じる時の言葉。そのために。そういうわけで。前件を受けて、後件を新しい場面に展開させていく働きをする(注 20)。
- 四、句と句、文と文を接続する。前の事柄を受けて場面を設定し、それに対する意志的行動が自然な成り行きを述べる。後の文は動詞文(注 21)。
- 五、ある場面を設定して、その場面に対処するために起こす意志的行動か、その結果おのずと落ち着く状態を述べる場合に用いられる(注 22)。
- 六、前に述べた事柄を受けて、それを理由条件として話を進める。話の方向を上手に変える時に使う(注 23)。

## 3. 「だから」「それで」「そこで」の意味と用法

### 3.1 「だから」「それで」「そこで」がとるセンテンス

本稿の例文は 1999 年入学 (注 24) の淡江大学日文系一年生 (現在はすでに四年生の前学期) が今までに使用した教材で出て来た「だから」「それで」「そこで」である。以上の例文でもわかるとおり使用頻度が一番高いのは「それで」で、最も低いのは「だから」である。またこれら例文のほとんどを「因果関係」が占めている。もちろんその他の「語気変換」や「時点」もある。筆者はこの 104 の例文中の「だから」「それで」「そこで」を空欄とし、「だから」を A、「それで」を B、「そこで」を C とした問題を作った。これには何冊もの国語辞典を当たるほか、実際に日本語を母語とするネイティブスピーカーにもアンケート調査を行った。その結果は三つとも使えるという回答が最も多かった。その理由としては、どれを使った方がいいか分からないというものだった。つまりどれを使用したとしても少数の「非因果関係」を除いて、どの接続詞をあてはめても文として意味が通じるからである。少数の「非因果関係」というのは「依頼」、「命令」、「時点」等の事で、これらの状況のときは三つとも使えるとは限らない。つまり「依頼」



「命令」は「だから」しか使えない。それは語源が「から」と同じだからである。

「そこで」の語源は「そこ」に助詞の「で」が加わったもので、「自然な成り行き」を表す以外に「時点」を表すこともできる。これは「それで」「だから」には真似ができないものであった。

「だから」の用法は大きく分けて四つに分類することができる。まず第一は「帰結」、第二は「理由」、それも「非常に主観的な理由」である。第三は「質問」、そして第四は「主張」である。次に「それで」の用法は三つある。第一に「理由」、第二に「真相発見」第三は「変換」、つまり語気を変えたり、相手の回答を促す場合である。「そこで」の用法も三つで、第一に「理由」、第二に「時点」第三に相手の回答を促す場合である。「だから」「それで」「そこで」に共通の用法として「理由」が挙げられる。しかしこの「理由」もそれぞれ意味が少しずつ異なる。「だから」は「主観的な原因理由」で「帰結」へとつながる。「それで」は「客観的な理由」で、その語源は「ので」へとつながる。「そこで」は「自然な成り行きの結果」であり、同じ理由でもそれぞれ違うことがわかる。また「だから」は積極的な勧誘、依頼、命令であり、「それで」は客観的、自然のなり行き、勧誘、命令、依頼には適さない。「それで」の後につづく語は「形容詞句」でもいいが、「そこで」には「形容詞句」は適さず、「動詞句」が適している。なかでも「意志動詞」はよく使う。

以上のことをまとめると下記のようなことがわかる。「だから」を使ったセンテンスは「だから・・・のはずだ」の用法が多い。例えば

◇モニターテレビには女の人のしか映っていませんでした。だから、その時、男の人は店内にいなかったはずです。

動詞+たら」のセンテンスは上の句が下の句の原因それも積極的な原因となる。しかし このセンテンスは「～たら」(原因・結果)だと「だから」が接続詞として適さなくなる。例を挙げると

(○) ◇健康の秘訣は八分目になったら、そこではしを置くことです。

(×) ◇健康の秘訣は八分目になったら、だからはしを置くことです。

「そこで」は一つの場面の設定であり、この場面はどう対応するかの「意志的行動」を示す。もう一つ例を挙げる

◇健康診断の結果、太りすぎだと言われた。そこで、運動を始めることにした。

この「そこで」は自然な成り行きを表し、「それで」で代替も可能である。しかしこの文では多少のニュアンスが違ってくるのはさげられない。

### 3.2 「だから」「それで」「そこで」の使い方

上述の資料から抽出した結果、「だから」「それで」「そこで」は主に次のように分けられる。

「だから」 帰結 理由 質問 (注 25) 主張 (注 26) (積極的) (勧誘・命令・依頼の語句)

「それで」 理由 聞き出す 催促 (客観的) (自然の成り行き)

「そこで」 理由 時点 催促 (意志動詞) (自然の成り行き)

「だから」の用法は大きく四つに分けることができる。第一に「前文の原因理由」をもとにひとつの「結論」を導き出す。中国語では「因此」「所以」となる。それに続くセンテンスの上の句をP、下の句をQとすれば、このQは「推量」「依頼」「勧誘」が使える。推量形というのは「でしょう」、依頼形は「ください」、勧誘形は「ましょう」である。「だから」の第二の用法は最もよく使われる「因此・・・所以」の使い方で、文末は「・・・のだ」「・・・はずだ」となる。第三と第四の用法は、学者によってはこれをひとつの用法にまとめる人もいるが、一つの用法、二つの用法にかかわらずこれは文章体ではなく会話体となる。もし会話文を二種類に分けるとしたら「質問」「主張」に分けられる。この二種類は「非因果関係」に属している。もう少しこの四つの用法について補足すると、「だから」の第二の用法つまり文末に「そのために・・・のだ、・・・はずだ、・・・ものだ」があるものは他にもある。例えば

◇部屋の電気がついている。だから、もう帰ってきているはずだ。

また「だから」の丁寧な用法は「ですから」。他にも「だから」と助詞の「から」とは切っても切れない関係にある。次の例を見てほしい。

◇この辺は夜は冷える。だから、セーター持っていった方がいいと思う。

◇この辺は夜冷えるから、セーターを持っていった方がいいと思う。

つまり「から」は助詞であるにもかかわらず「だから」のセンテンスに変換できる。

◇田中さんは公務員だ。だから不況のときも失業する心配がない。

「だから」は「理由の強調」というよりも「結果の強調」といえるだろう。「だから」の原因、理由は一種の「積極的」なもので、後ろには勧誘形、推量形、依頼形が使える。「それで」の用法は大きく二つに分けることができる。ひとつは「消極的理由」をあらわす、この後ろには「依頼」「勧誘」「推量」が来てはいけない。二つめは「相手を促し」、そして会話を続けさせる。例えば

A：来週から試験だ。

B：それで。

A：しばらく遊べない。

「それで」の用法をもっと詳しく説明すると、一つめの用法「原因理由」もまた二つに分けることができる。そのひとつめは「真相究明」である。まず上の句をP、下の句をQとすると、Pの内容が明らかになった後Qの内容が明らかになる。いわゆる「真相原因の発見」である。ふたつめはPがあらわす状況について自然とQがでてくる。例えば

A：昨日彼とテニスの試合をしました。

B：それでどちらが勝ちましたか。

「そこで」の用法の三つでは、第一に「理由」、第二に「時点」第三に相手の回答を促す場合である。ひとつめは「それで」と代替可能な「理由」。二つめの用法は「ある一定時間内に起きた出来事」、ある状況、時間になにかをするという意味用法である。三つめは例えば

A：昨日彼とテニスの試合をしました。

B：それで、どっちが勝ちましたか。

#### 4. まとめ

「それで」が理由として使われる場合のひとつめの用法は「真相発見」、ふたつめは「自然な因果関係」である。ただ「自然な因果関係」用法で気を付けなければいけないのが、そのセンテンスが形容詞句の場合である。つまりQに形容詞がきた場合、「そこで」は使えず「それで」に変わる。

◇食べすぎてしまった。それでおなかが苦しい。

「そこで」は動詞句に適している。

◇ドアのペンキを塗り終わったら、そこで一休みしてください。

◇三分たったらベルが鳴ります。そこで目を開けてください。

「そこで」は動詞句に適しているばかりでなく、「意志的」な意味をも兼ねている。

◇前奏が終わったら、そこで歌い始めてください。

最後に「そこで」の主な使い方をみってみる。主な用法は三つに分けられる。ひとつめは「それで」と代替可能な「理由」。

◇ベルが鳴った。そこで学生は教室に入った。

二つめの用法は「ある一定時間内に起きた出来事」。これは中国語訳もそう難しくない。この場合は「因此・・・所以」ではなく「於是」か「於是乎」となる。そして三つめの用法が話しの流れを変えることだ。つまり「語気の変換」である。

◇事情はいまお話したとおりです。そこであなたに相談なんですが・・・。

「そこで」は前件の事情をうけて一つの場面を設定し、この場面からつづくQ（後件）は「意志的行動」か「自然な成り行き」がくる。この両者とも「動詞句」が多い。

◇電話のベルが鳴った。そこで、受話器を取った。

補足説明の「それで」も会話では「で」で代替できる。「そこで」「で」とくればすぐ助詞「ので」を連想するはずである。助詞「ので」は客観的な意味合いをも

つので同様に「それで」の後ろにも「命令」「依頼」「積極的意志動詞」などは不適用である。

- (×) ◇このままではだめだ。それで改善しなさい。
- (○) ◇このままではだめだ。だから改善しなさい。
- (×) ◇出発まで一時間しかないんです。それで急いでください。
- (○) ◇出発まで一時間しかないんです。だから急いでください。
- (○) ◇締めきりは明日までです。だから急ぎましょう。
- (○) ◇締めきりは明日までです。それで急いなのです。
- (○) ◇雨がふりそうだ。だからテニスを中止しよう。
- (○) ◇雨がふりそうだ。そこでテニスを中止しよう。
- (×) ◇雨がふりそうだ。それでテニスを中止しよう。
- (○) ◇雨がふりそうだ。それでテニスを中止したのです。

これらの例はすべて状況の「客観的敘述」になる。

「だから」の第三、第四用法は「問いかけ」と「自己主張」で、学者によってはこれらを一つにし、「これはあなたの責任だ」のような一種の心情を表しているという。

これら「問いかけ」「自己主張」「責任の押しつけ」の部分は今回は省くことにし、次回の研究に譲ることにする。

つまり、「理由」を表す用法では「だから」「それで」「そこで」の三者とも使えることがわかった。しかし上述したように「真相発見」の心情のときには「それで」を「そこで」に代えられない。また、「それで」は「理由」的用法でないで使用できない。衆知の通り日本語の品詞と品詞間の分類はあまりはっきりしていない。同様に接続詞もそうである。「だから」「それで」「そこで」をとっても用法が重複する場合もあるし、重複しない場合もある。それに加えて「それで」「そこで」は接続詞としての用法ばかりでなく、指示代名詞「それ」＋「で」、方向代名詞「そこ」＋「で」のような用法も初級レベルの日本語でよくでてくる。

「だから」「それで」「そこで」の三者の接続詞はすべて「原因・結果」ということを表すことができる。しかし実際に用法上ではやはりいろいろなニュアンスの違いがある。

## 注

1. 名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞・助詞・助動詞の十品詞がある。
2. 著者によって接続詞の分類が異なっている。
3. 日華辞書に出ている翻訳は所以 ◇ 新しい話題に転ずるとき「そこで」「それで」《那麼》◇ 後件が前件の論理上の帰結であることを表す「だから」《因而》◇ 後件は 前件から予想される当然の結果「だから」《所以》◇ 相手の話を先に促すとき使う「それで」（そして）《那麼》◇ 自然的な成り行きを述べる。意識的行動に用いられる「そこで」。《因此》◇ 後件の文は動詞文「そこで」《於是》《於是乎》◇ 後件の文に依頼、命令などの積極的な意志表現を使われる「だから」《所以》《因此》。ほとんど中国語訳に過ぎず、説明は行われていない。
4. 例文引用資料を参照
5. 一、『三省堂国語辞典』二、『日本語大辞典講談社第二版』三、『大修館日本語教育辞典』
6. 『三省堂国語辞典』によると、「だから」：後件が、前件の論理上当然の帰結であることを表わす。「……だから、病気になったのだ。」②そのような望ましくない結果が自分には前もって予測できるものであったことを表わす。「——言わないことじゃない」。「それで」：それだから。②前に述べた話を受けながら、新しい話題に転ずる時使う言葉。そこで。③相手の話を先に促す時使う言葉。そして。「そこで」：(すぐ前の話を受け) そういう次第で。「—— (=その時)」②話を巧みに転じる時の言葉「—— (=ところで。さて) きみに尋ねる事が有る」
7. 『文英社くわしい国文法』、『旺文社国語に強くなる辞典』、『荒竹接続の表現』
8. 『三省堂国語辞典』
9. 『日本語大辞典講談社第二版』
10. 『文英社くわしい国文法』
11. 『旺文社国語に強くなる辞典』
12. 注8と同じ
13. 注9と同じ

14. 注 10 と同じ
15. 注 11 と同じ 9 と同じ。
16. 『荒竹出版接続の表現』
17. 『大修館日本語教育辞典』
18. 注 8 と同じ。
19. 注 9 と同じ。
20. 注 10 と同じ。
21. 注 11 と同じ。
22. 注 16 と同じ。
23. 注 17 と同じ。
24. 2003 年現在日本語学科学部の四年生。。
25. この使い方は 2003 年現在学部 of 四年生の教科書にない。
26. 注 25 と同じ。

## 参考文献

- 1 山森良枝(1990)「接続詞の二類型と談話の情報構造—「つまり」と「だから」を手がかりに—」『日本語学』 9 巻 5 月号 明治書院
- 2 ひけ ひろし(1986)「接続詞「そこで」「それで」」『国語教育』 86
- 3 ひけ ひろし(1987)「そこで」「だから」「したがって」『国語教育』 88
- 4 益岡隆志 (2000)『日本語文法の諸相』 くろしお出版
- 5 砂川有理子(1998)『日本語文型辞典』 しろくお出版
- 6 横林宙世 (1988)『接続の表現』 荒竹出版
- 7 森田良行 (1980)『基礎日本語 2』 角川書店
- 8 関正昭 (1992)『外国人に教える日本語の文法』 一光社

## 例文引用資料

- 1 『みんなの日本語初級 I II 進級 I II』 (スリーエーネットワーク)

- 2 『文化中級日本語ⅠⅡ』 (文化日本語学校)
- 3 『日本語Ⅲ』 (東京外語大学)
- 4 『くわしい国文法』 (文英堂)
- 5 井上靖 『帽子』 新潮日本文学
- 6 芥川龍之介 『羅生門』 新潮日本文学
- 7 芥川龍之介 『藪の中』 新潮日本文学
- 8 志賀直哉 『城の崎にて』 新潮日本文学
- 9 田中稔子(2001) 『日本語の文法』 日本近代文芸社
- 10 蔡 茂豊(1999) 『現代日語文的口語文法』 大新書局



〈日本語教材より抜き出した104の例文〉

1. 食べ過ぎてしまった。だから胃薬を飲んでおこう。
2. 雨が降ってきた。だから急いで帰ろう。
3. おなかかぺこぺこだ。だからなんでもおいしく食べられるだろう。
4. 学校は八時に始まります。だからもう出掛けたほうがいいです。
5. 鈴木さんは公務員だ。だから不況の時も失業の心配がない。
6. これは有機栽培の野菜です。だから安心だし、とてもおいしいですよ。
7. 美しいもの、面白いもの、気味悪いもの、顕微鏡は不思議な世界を見せてくれる。だからぼくは顕微鏡に興味を持つのだ。
8. 連休に山へ行ったら、ひどい雨に降られた。だから予定を早めて帰ってきた。
9. 人に思う通りにしたいと願望や理想の空間を持ちたいという夢があった。それが庭園である。だからもともと、庭園は特権的な富裕階級のものだ。
10. 「このままではだめだ。だから改善しなさい。」
11. 「出発まで1時間しかないんです。だから急いでください。」
12. 風邪をひいた。だから薬を飲んだ。
13. テレビ、ラジオで見たり聞いたりしたことを、活字によって確かめたいという場合もある。だからテレビ、ラジオがどんなに発達普及しても、ニュースの報道機関としての新聞の存在意義がなくなってしまうということはあるまい。
14. 教育は、小学校から大学まですべてタダで、塾もない。だから税金は高くも、消費にまわせるお金は日本よりも多い。
15. 私は私なりに気付いていて、出来得るなら、自分もまた母の希望に添おうと思っていたのである。だから、私は自分の頭に合った帽子とか、自分の足に合った靴というものは、最初から締めていた。
16. 雨が降りそうだ。だからテニスは中止しよう。
17. 熱が高い。だから、学校を休むことにした。《国文法》
18. 甲. 今晚飲みに行きませんか。  
乙. すみません。きょうは妻と約束があります。だから、早く帰らなければなりません。
19. 値段が安いです。味がいいです。だからいつもこの店で食べています。

20. モニターテレビには女の人しか映っていませんでした。だから、その時、男のは店内にいなかったはずですよ。
21. 昨日全然予習をしませんでした。だからきょうの授業はほとんどわかりませんでした。
22. うちにはクーラーがなくて夏はとても暑い。だから、夏休み中は毎日学校の図書館で勉強している。
23. この町にはおおぜいの外国人が住んでいる。だから、いろいろな国のレストランや料理の材料を売っている店が多い。
24. 妹はこのごろ甘いものばかり食べています。それで太ってしまいました。
25. 今月は大学の授業料、アパートの部屋代などでお金がたくさんかかります。それでアルバイトをさがしているんです。
26. あの社長はなかなか頑固者らしい。それで周りの人間は困っているようだ。
27. 私一人でこんな重大なことはきめかねます。それで、今日は相談にあげたのです。
28. 「週末だから明日は込むかもしれませんよ。」「それで、実は困っているですよ。」
29. 「タイへいらっしゃるんですか。」「ええ、そうなんです。それでアルンさんにいろいろお聞きしたいと思って……。」
30. 天候が急変した。それで今日の登山はやめることにした。
31. 病人はお茶がほしかったけれど、看護婦がいなかった。それで、私が飲ませてやったのです。
32. 今までの商売は若者に人気なくなりました。それで、この商売を始めるようになったのです。
33. 今月は引っ越しや友人の結婚式などで、大分お金を使ってしまいました。それで 母に電話して送金してもらいました。
34. 電車の事故があったんです。それで遅れてしまいました。
35. 事故があって電車が遅れてしまいました。それで、佐藤さんは遅刻したんです。
36. 旅行に行くので、一週間留守にするんです。それで申し訳ないですが、その間、新聞を預かっていただけないでしょうか。

37. 今朝、急におなかが痛くなって、外にでられなかったんです。それで、遅刻してしまっただけです。
38. 「彼は怒って帰ってしまいました。」 「それであなたは どうするつもりですか。」
39. 「きのう彼とテニスの試合をしました。」 「それでどちらが勝ちましたか。」
40. 「昨日は弱まりました。部長に呼ばれましたね。」 「それで・・・。」 「部長の息子に英語を教えてくれって言うですよ。」
41. 「さっき先生に呼ばれました。」 「それで先生に何て言われました？」
42. 「それで、彼との話は どうなったの。」 缺前件 (没有前件)
43. 「信号が青になったんで発進したんだ。そしたら子供が飛び出してきてね。ほんとに驚いたよ。」 「ほう、(それで)」 「思いきりブレーキを踏んで、ぎりぎりのところで助かったよ」
44. 「ずっとせきが止まらないから、病院へ行ってレントゲンを撮りました。」 「それで、どうでしたか。」
45. A: 実は、先月からダイエットを始めたんです。  
B: そうですね。それで何キロやせたんですか。
46. A: 今度はアメリカへ転勤になったんです。  
B: それはご栄転ですね。それで、アメリカのどちらに行かれるのですか。
47. A: 昨日 10 年ぶりに母校を訪ねてみたんです。担任の先生が懐かしくて……。  
B: そうですね。それで、担任の先生には会えたんですか。
48. ドアのチャイムが鳴った。それでドアを開けた。
49. 天候が急変した。それで今日の山登りをやめることにした。
50. 約束の時間まであと 30 分ある。それで本屋に入ることにする。
51. 食べすぎてしまった。それでおなかが苦しい。
52. きのお酒を飲み過ぎた。それで今日は頭が痛い。
53. 今年の夏は、暑い日は少なかった。それでクーラーの売れ行きが例年と比べて非常に悪かった。
54. 人に思う通りにしたいと願望や理想の空間を持ちたいという夢があった。それが庭園である。だからもともと、庭園は特権的な富裕階級のものだ。

55. Aさんはこの頃ほとんどご飯を食べません。それでやせてしまいました。
56. 友人が日本へ遊びにきたので、それで成田まで迎えに行った。
57. 今日は寝不足です。それで眠くてしかたありません。
58. これは安いです。それで私にも買えました。
59. 夏は食欲が落ちます。それで三キロやせました。
60. 「彼は、今日なんだかそわそわしていますね。」「大学の入試発表があるんです。」「あ、それで。うまく行くといいですね。」
61. 熱が出た。それで学校を休んだ。
62. 1時間待ったが、彼はついに来なかった。それで、私は家に帰った。
63. 甲. よくこの喫茶店に来るんですか。  
乙. ええ。ここはコーヒーもおいしいし、食事もできるし・・・。  
甲. それで人が多いですね。
64. ここは安いし、おいしいし、それに駅から近いんです。それでいつも込んでいます。
65. 甚五郎は一生懸命頑張って、左手で彫れるようになりました。それで、「左」甚五郎と呼ばれました。
66. ハンスがタベ熱を出しまして、今朝もまだ下がらないんです。それで きょうは学校を休ませますので、先生によりしくお伝えください。
67. 甲. 新しい部長は昔イギリスに留学していたそうですよ。  
乙. ああ、それで 英語が上手なんですね。
68. 手紙はあまり書いたことがないので、自信がなくて、それで申し訳ないんですが、ちょっと見ていただけませんか。
69. けさ、山手線で事故があった。それで、おおぜいの学生が一時間目のテストを受けられなかった。
70. 電話のベルが鳴った。そこで、受話器を取った。
71. 救急車が近づいて来た。そこでドライバーは道路の端に寄って停車した。
72. あまり時間がない。そこで結論を急ごう。
73. ドアのペンキを塗り終わったら、そこで一休みしてください。
74. 結婚式は普通の女性にとって一生に一度の晴れ舞台である。そこで、たった2時間ほどのために何百万円もの大金を使うのだろう。

75. ベルが鳴った。そこで玄関に出てみた。
76. 突然父が病気になり、国からの送金が途絶えてしまった。そこで学校に事情を話したら、特別に1年授業料を免除してくれた。
77. 人身事故で中央線が不通だという。そこで地下鉄の駅へ急いだのだが、駅の外まで人があふれていた。
78. 事情はいまお話したとおりです。そこであなたに相談なんですが……。
79. 多年にわたる研究の成果が実り、ようやく産量態勢に入ることになりました。そこでお願いでございますが……。
80. 締めきりは明日までです。だから急ぎましょう。
81. 外が暗くなった。そこで、電灯をつけた。
82. 健康診断の結果、太り過ぎたと言われた。そこで、運動を始めることにした。
83. 信号が青に変わった。そこで、私は道を渡り始めた。
84. 三分たったらベルが鳴ります。そこで目を開けてください。
85. 健康の秘訣は腹八分目になったら、そこではしを置くことです。
86. 三字以上の漢語はほとんど一字ないし二字の漢語の組み合わせからできている。そこでまず二字の漢語の構成を見てみよう。
87. 前奏が終わったら、そこで歌い始めてください。
88. ドアのチャイムが鳴った。そこでドアを開けた。
89. 私達は結婚して三十年立ちました。そこで、三十年を記念して何か社会に役立ちたいと、わずかですが、寄付させていただくことにしました。
90. 信号が赤になった。そこで運転士はブレーキを掛けて停車させた。
91. 信号が赤になった。そこでATS装置が働いて車は自動的に止まった。
92. 電話ではゆっくり話ができなかった。そこで手紙を書いた。
93. 怪我をした。そこで急いで病院へ行った。
94. 講演が終わった。そこでさっそく質問した。
95. 一人が帰った。そこで、残りは三人になった。《国文法》
96. 材料が全部揃った。そこで、いよいよ製作にかかった。
97. 「英語」の書き方の例文は使いつくしてしまいました。そこで、一大決心をして英語を勉強し直すことにした。
98. 試験科目は去年まで日本語だけだったが、今年は日本語と英語になった。そこ

で放課後、英語の学校に行くことにした。

99. 女性は産前産後の休暇をとるために、労働力が劣るから、給料も男子と同等にできないと言うのです。そこで私たちが今提出しようと考えている案は、妻が出産のため1か月休みをとる場合には、必ず夫も1月休むことにするのです。
100. 現実の生活の中では無視してもよいほどに小さく、逆にふたりの感覚の共通性のほうは、これと比べると比較にならないほどに大きい。そこで、ふたりは、小さな食い違いは捨て、大きな共通性のほうを取って、お互いに「さむい」ということばを使うのである。
101. 読者が新聞に対する期待も、そこにあるであろう。そこで、その点について、新聞への希望を一、二述べておきたい。
102. いや、その時の心もちでは、とてもそんな事はできません。そこでわたしは山の中へ、あの夫婦をつれこむ工夫をしました。
103. 後に残ったのは、ただある仕事をして、それが円満に成就した時の、安らかな得意と満足があるばかりである。そこで下人は老婆を見下ろしながら、少し声を柔らげてこう云った。
104. 手押し車に乗せられて飼育小屋から森へ出かけて行く。そこでなんと人に木登りを教えてもらったり、餌の採り方を一生懸命に学んでいる。